2024年 11月 28日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…サンキ・ウエルビィグループホーム玉湯
サービス種類…認知症対応型共同生活介護
会議開催日…2024年 11月27日(水) 10時00分～
開催場所… GH玉湯交流スペースにて

○運営状況報告

① 運営状況の報告

※詳細は別紙にて報告する。

1F→平均介護度 2.5

【入居退去者】→なし 入院者→なし

2F→平均介護度 3.8

【入居退去者】→なし 入院者→なし

入居待機者→12名

② 職員体制

※詳細は別紙にて報告する

○施設の取組み報告

9月は敬老会&家族会を行いました。百寿、米寿を迎えられた方のお祝いも行い、スタッフの余興を楽しまれた後は家族さまも一緒に昼食を食べました。昼食は日頃食べているタイハイの食事を家族さまにも食べて頂きました。久しぶりに家族さまと一緒にご飯を食べられ和やかな時間となりました。参加された家族さま全員に運営推進会議に出席して頂き、貴重な意見をたくさん頂くことができました。10月はスイーツバイキングを行い秋の旬である芋や栗のロールケーキなど召し上がられ「こんなにいいの?」とおかわりをされる方もおられました。また、スタッフの家族によるフルート演奏会なども開催し、食欲の秋と芸術の秋を楽しまれました。

○身体拘束適正化委員会

※別紙議事録にて報告する。現在、身体拘束の事例なし。

○取り組み状況についてのご意見、ご感想 (地域包括)

介護職の人材不足の中、島根県は高齢化の割合が非常に高いが若い世代も県外へ進学や就職する割合が多い。もう少し若い世代にも介護に就職してほしいが県外への進出で悪循環にも繋がっている。

※コロナ、インフルエンザ接種状況を聞かれインフルエンザ接種は全員、コロナについては希望者のみ接種したことを伝える

(利用者ご家族さまより)

人材不足の中、負荷もあるのにどうして賃金がなかなか上がらないのか。どう効率化していくかがすごく難しい。実際に現場で働かないと介護現場の実態を把握することもできない。政府ももう少し賃金 UP のため政策を考え行動してほしい。介護度も重度になると災害などがあった場合に避難するのが大変ではないのか。

※避難についての話の中で今年に入り津波警報が発令し2階へ避難し一晩過ごしたことや近隣の川が氾濫危険水位まで上昇し避難したことも伝える

○次回の運営推進会議の確認

・2025年1月(予定)

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○